

# コープリハビリテーション病院 老健あかねだより

No.153 2026年5月号

倉敷医療生活協同組合  
コープリハビリテーション病院  
〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60  
TEL 086-444-3212  
老人保健施設 老健あかね  
TEL 086-446-6541

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

## 院内学術運動交流集会開催

3月18日に院内学術交流集会が開催されました。各部署から業務改善・事例検討をテーマにした5演題が発表されました。

発表された演題は、業務の効率化についての取り組みや看護・介護の関わりなどの演題も安心・安全な医療・介護を目指し取り組まれていた内容でした。

今後も各職場で様々な取り組みを行い、患者さん・利用



院内学術運動交流集会で通所リハビリテーション責任者山本武範の発表の様子

者さんが住み慣れた地域で穏やかに暮らして行けるような支援ができるよう努力していきたいと思えます。

(高田久美子)

今回、卒Ⅱ研修でまとめた高次脳機能障害をもつ患者様との関わりの事例を発表しました。

事例にまとめたA氏は高次脳機能障害の中でも主に遂行機能障害や脱抑制、常同行動といった症状がみられていた。

A氏との関わりの中で症状の特性の理解、その方の価値



発表者 チャンティホンガム



発表者 津田英香

観や生活背景に目を向け看護介入をおこなっていく大切さを学びました。

今後も患者様と関わる上で行動や生活背景、その方の価値観に目を向け、尊厳を保ちながら生活の再構築を支えられる看護実践をおこなえるよう頑張っていきたいです。

(コープリハビリテーション病院 回復期リハビリテーション病棟 看護師 津田英香)

看護師 津田英香

あかね通所リハビリの1年の業務改善内容について、発表させていただきました。発表した内容から特徴的な2項目を紹介いたします。

①食事が終わった利用者から口腔ケア誘導していましたが、早い時間になると、介助する職員が少ないため、移動時に転倒が生じる可能性がありました。そのため、職員数が戻る12時30分から口腔ケアを開始することで安全に誘導することができています。

②預かり朝薬や食前薬の配薬について、看護師体制上、配薬時間帯に対応が難しいため、他の職員でも対応ができるように、目印となる札を作成しました。札が回収されていなければ、気付いた職員が配薬を行っています。

このように利用者が安全に利用でき、職員の負担が軽減できるように、毎月、職員からの意見集約し具体的な取り組みを立案しています。

(老健あかね)

通所リハビリテーション 責任者 山本武範

## 難病患者さんのレスパイト(「休息」)入院をお受けしています。

当院では、岡山県難病医療連絡協議会からの依頼などで、難病患者さんのレスパイト入院をお受けしています。

レスパイト入院とは、介護者家族の休息のための入院という意味です。

難病の患者さんは重介護や医療的な管理が必要で、介護保険でのショートステイ利用が難しい方や医療機関での入院が望ましい方、介護保険対象

象とならない若い方もおられます。

在宅介護を続けるためには、介護者の方の休息は必須です。

入院の間をご家族もご本人も安心して過ごすことができます。入所後、病棟スタッフとご家族・ご本人との橋渡しとなれるよう努めたいと思います。

(コープリハビリテーション病院 医療福祉相談・連携室 主任 中曾真知子)

### 「レスパイト」は「ひと休み」という意味

毎日ずっと介護を続けるのは、心も体もすごく大変です。家族が疲れきって倒れないように、「いったん休ませて、息抜きしてね」という目的で作られた仕組みです。



### 病院だから安心

ふつうの「お泊まりサービス(ショートステイ)」と違うのは、病院に泊まるという点です。たんの吸引が必要だったりチューブで栄養をとっていたりして、お医者さんや看護師さんがそばにいないと心配な人でも、安心して預けることができます。



### 理由は何でもOK

「介護に疲れたから休みたい」という理由はもちろん、「冠婚葬祭がある」「旅行に行きたい」「自分が風邪を引いてしまった」という時にも使えます。



つまり、「家族が元気に介護を続けるための、前向きな充電期間」のための入院のことなんです。



入院や入所に際して、部屋代はいただいません。

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。



安全な食事形態から嚥下訓練を行う筆者

今回、外傷性くも膜下出血・脳挫傷にて嚥下障害を呈した気管切開の患者さんを担当しました。入院当初、ご本人は食べたい気持ちがあっても誤嚥リスクが高い嚥下機能でした。目標は普通食を食べる事とし、段階的なアプローチを本人と共有し、嚥下訓練を開始しました。

まずは嚥下体操（嚥下おでこ体操や息こらえ嚥下）・発声訓練などの間接訓練から行いました。患者さんや職員との挨拶や会話も日課とし、声量が 증가しました。徐々に口から食べる練習（直接訓練）も開始しました。食事形態は安全なコード2（ムース状）から始め、昼食から全量摂取を目指しました。昼食を完全できた事で「早く3回食べた」と前向きな発言が見られました。VF検査（嚥下造影検査）で誤嚥なく安全に食べていることも確認でき、最終的に3食普通食を摂取できるまでに回復しました。

段階的アプローチ

## 段階的アプローチにより経管栄養で絶食状態から3食普通食が摂取可能に回復

### 新人リハビリ症例発表

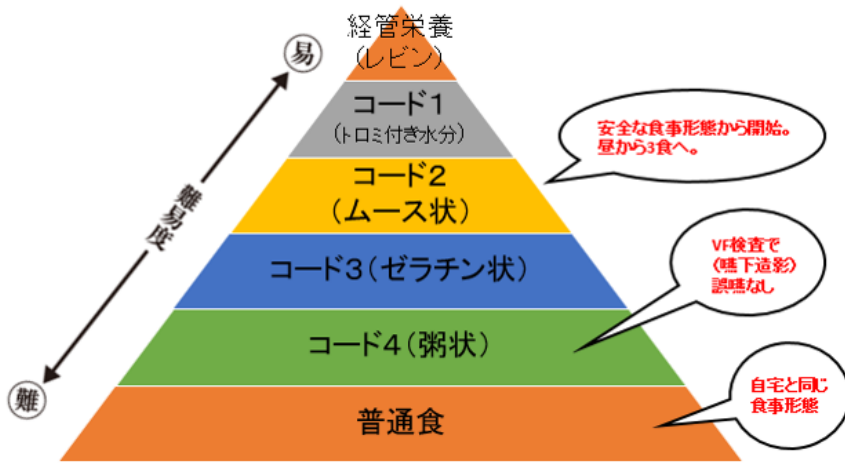


図 経管栄養から自宅でも調理可能な食形態に改善するまでの経過

言語聴覚士 増田結衣



コープリハビリテーション病院  
リハビリテーション科 理学療法士  
森 数 愛 美



コープリハビリテーション病院  
リハビリテーション科 理学療法士  
首 藤 蒼 依



コープリハビリテーション病院  
リハビリテーション科 理学療法士  
岡 本 真 治

## 新入職員 紹介



コープリハビリテーション病院  
回リ八病棟 看護師  
中 原 裕 子



コープリハビリテーション病院  
事務課  
吉 武 心 咲



コープリハビリテーション病院  
回リ八病棟 看護師  
長 副 緋 里



コープリハビリテーション病院  
回リ八病棟 看護師  
猪 原 萌 花



**お問い合わせ先**  
倉敷医療生活協同組合  
コープリハビリテーション病院  
老人保健施設 老健あかね  
TEL 086-444-3212(代表)  
受付時間 平日 9:00～16:30  
土曜日 9:00～12:00  
(日祝・年末年始を除く)

〒712-8057  
倉敷市水島東千鳥町1-60  
ホームページ: <http://coopreha.jp/>  
メールアドレス: [info@coopreha.jp](mailto:info@coopreha.jp)  
広報委員会  
発行責任者 笹 館 勝 人

診療表						
コープリハビリテーション病院 外来受付時間 8:30～12:00 [086-444-3212]				老健あかね [086-446-6541]		
診療時間	外来	装具 外来	歯科	短時間 通所 リハビ	短期集中 健康ア ップ 教室	訪問 リハビ
午前 9:00～ 12:30	14:30 ～ 15:00		午後	9:00 ～ 16:50	9:30 ～ 11:00	
月	中角 (整形外科) 本田			○		○
火	渡辺 本田	○ (予約制)	滝本 (予約制)	○		○
水	飯塚			○		○
木	太田		滝本 (予約制)	○		○
金	香口 本田			○		○
土					○	○

医療福祉相談・連携室		
相談 受付時間	平 日	9:00～12:00 13:30～16:30
	土 曜 日	9:00～12:00
	日・祝日	休み

無料低額診療事業・無料低額介護老人保健施設利用事業を行っています。